

<エコポリスセンター 地域エコロジー講座 詳細メニュー>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数・実施場所については、3密（密集・密接・密閉）を避ける対策を実施の上、お申し込みください。参加者はマスク着用、手指消毒等、新型コロナウイルス感染症拡大防止にご協力ください。また、メニューによってはオンライン講座も実施しております（時間短縮および内容に一部変更あり）。ご希望の方はご相談ください。

No.	31	主な対象	小学6年生以上向け（あいキッズ、寺子屋など） 一般区民向け（町会・自治会・サークルなど）
タイトル	2050年の住み続けたいいたばしのまちを考えよう		
テーマ	地球温暖化、エネルギー、身近な自然、地産地消、循環型社会	形式	講義＋体験
所要時間	2時間～3時間	人数	小学6年生～高校生:10～40名 大学生～一般:10～80名(要相談)
推奨 実施時期	通年		
講師・費用	エコポリスセンタースタッフ以外の専門講師（NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲア）	講師派遣数	3～4名
ねらい・内容	<p>■ねらい</p> <ul style="list-style-type: none">・板橋が守ってきた武蔵野台地と崖線、荒川の自然を守り、各地域の自然とつなげて、緑被率を高め、生きものの減少を止め、自然環境を広げていく。SDGsのゴール15「陸の豊かさを守ろう」・循環する生活と地産地消へ向かい、地元産や近場の産直の食物を増やし、3Rをすすめる、「今日もいたばしのごはんがおいしい」を作り出す方法を考える。SDGsのゴール11「住み続けられるまちづくりを」12「つくる責任つかう責任」・ライフラインの電気、水、ガス、を確保し、二酸化炭素を減らす板橋のまちを目指し、温暖化を防止していく暮らしを考える。SDGsのゴール7「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」ゴール13「気候変動に具体的な対策を」・未来の板橋を、持続可能なまちにする一歩を協働で考え、まちの絵に表現する。・みんなで、その未来図を発表し、実現へ向け考え合う。 <p>■内容</p> <p>＜自然・循環する生活と食べもの・エネルギーの3つの分野＞</p> <ul style="list-style-type: none">①SDGs15②SDGs11・12③SDGs13・7④上記の3分野について、板橋のまちで実現したい夢と希望を考え、今ないものでも、自分の住む地域の地図の上に、設計したり、モデルを作ってみたりして、夢・希望を広げる。		
依頼元にご用意いただく材料等	①グループごとに、はさみ・のり・セロテープ・工作用紙・マジックセット・色鉛筆など ②各色シール（5ミリ～10ミリ程度）（赤青黄色緑茶色など）	講師側準備物	①参加者の住む、板橋内の地域地図、グループ数 ②「住み続けたいいたばしのまちを考えよう」プレゼンSDカード ③いたばしのまちの夢と希望のワークシート ④活動ふりかえりシート ⑤色別シール（まちづくり表示用、例 緑の地域をたくさんの緑のシールで表現）
依頼元に必要な設備・機材	①スクリーン・プロジェクター・PC ②机・椅子参加者数 ③拡大投影機（あれば）	実施場所	・室内で安全に活動できる広さの部屋（テーブルが広いなど）
依頼元 必要スタッフ数	参加者20名につき1名（要相談）		
打ち合わせ	【対応時間】9時～17時 ・電話かメールで連絡がとれるようにお願いいたします。NPO法人センスオブアース・市民による自然共生パンゲアのスタッフからご連絡差し上げます。場合によっては直接会場で下見・打ち合わせをさせていただきます。		
その他	講師謝礼につきましては、エコポリスセンターにて負担いたします。 ★確定した【参加人数・班人数】を開催10日前までにご連絡ください。		